

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第9回 常任理事会議事録

日 時：2015年 9月 10日 (木) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

( 理 事 長 ) :  
( 直 前 理 事 長 ) :  
( 副 理 事 長 ) : 澤畑 (敬称省略 以下同)、福田(之)、廣田、  
太城、中島  
( 専 務 理 事 ) : 金  
( 監 事 ) : 安野  
( 担 当 常 任 理 事 ) : 羽石、飯野、鈴木  
( 日 本 J C 委 員 会 特 別 委 員 長 ) :  
( 会 員 拡 大 特 別 委 員 会 ) : 小瀧  
( 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ) : 豊崎  
( 事 務 局 長 ) : 飯沼  
( 代 理 出 席 ) : 亀井

1. 開会宣言 <金> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <羽石>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <飯沼>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <飯野>
5. 関東地区宣言唱和 <小瀧>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <金>
9. 議題並びに資料の確認 <飯沼>
10. 2015年度理事長挨拶 <澤畑>

50年に一度の雨の中皆さまに、そして総務、渉外の皆様にお集まりいただいたことに心から御礼申し上げます。同時に皆さん無事だったのだなとわかって安心しております。自分のラインのメンバーや家族、そして社員に被害があれば随時専務に報告していただければと思います。具体的にどういった支援ができるかははっきりと申し上げられませんが、

何かしら協力支援などをしていきたいと思えます。先ほど金専務に鹿沼 J C からボランティアの依頼があったということで、正式な内容は専務から後ほど連絡があると思うので、協力できる方は是非協力していただきたいと思えます。今日は皆さんご存知のとおり、須山理事長が次年度案件となりますが、大変な激務の準備を進めていらっしゃいます。きっと自分で掲げた、2015年度のスローガン「真摯に挑戦」というものを自ら実行している段階だと思えます。どこかであったら、声をかけることくらいしかできませんが、ひとこと頑張ってくださいと声をかけてみんなで応援したいなと思っておりますのでご協力をお願いします。中身の方に移りますけれども、前回の常任からでいくとまず、関東地区大会とブロックの事業、それから栃木フォーラムということがあって、出向されている方はもちろん参加していただいたメンバーの皆様には本当にありがとうございました。出向者の皆様には LOM の看板を背負って、各地で一生懸命戦っていただいていると思えますので、引き続き最後までやっていっていただきたいなと思えます。LOM の中ではダンス事業が先週行われました。担当副理事長の福田副理事長、担当常任の羽石常任には本当にご尽力いただいて委員会をいい方向に導いていただいたなと思っております。当日話した方もいらっしゃると思えますけれども、私が前段で朝早く会場に行っていたのですけれども、いままでも出ていただいていたヒップホップの子どもたちが自分たちが終わった後によさこいの踊りを見て、横で「わあ、かっこいい」って言っていたのです。その声を聞いてこの事業は成功だったなと思えました。地域にとっても大きな一歩だったと思えますし、我々 J C にとっても大きな一歩だったと思えます。そのあとの懇親会では司会をやっていた二人と私たち拡大のラインと一緒に飲みに行くというおかしな構図になったのですけれども、その時に司会の方からいろいろお話をいただいて、やっぱり反省点というものもたくさんあったので後ほど個人的にお伝えしますので是非反映させていただきたいと思えます。ただ、素晴らしい事業だったということは間違いのないと思えます。本日も常任理事会、当月審議となる案件を含んで協議がたくさんあります。是非、ダンス事業のように地域や自分たちのために大きな第一歩となるような事業を構築していただきたいと思えます。そのためにはここにいる常任理事会構成メンバーがカギとなりますので本日も最終最後までのお付き合いをよろしくをお願いします。

#### 1 1 . 直前理事長挨拶

村上直前理事長欠席のため割愛

#### 1 2 . 役員報告

金専務より、栃木ブロック協議会に鹿沼 J C からボランティアの要請があった旨の報告と協力の依頼。

飯沼事務局長より、議案提出の期限厳守のお願い。

#### 1 3 . 協議事項

- 協一 1 第 1 1 3 回通常総会 開催報告並びに決算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

<羽石> 今回出席率が目標に達成できなかったということで、今年度もう一度総会がありますので、各委員長と密に連絡を取って目標達成できるように委員会の方で検討してください。

<澤畑> 出席率というものに毎回こだわってやっていますが、本来はそんなに総会というのは出席率にこだわるというのではなくて、来るのが当たり前という考えでやっていかなければならないと思います。総務委員会は毎回いろんな委員会をまわったり、総会の意義などを説明したりしていますが、まずはここにいる執行部といわれるメンバーが総会の意義をわかっている、それぞれ委員長やメンバーに伝えているのかということなのです。そのようなところを根本的に直していけば、総務が何とか来てくださいますし、なくても当たり前に来るはずなのです。当日雨が降ればいつもより30分早く出ようとかおもえば定刻開催もできますし、そこを改善しないと私が入会してからずっと同じことをやっているような気がしますので、そのような改善を皆さんでやっていければと思います。

協一 2 7月 メディア例会 開催報告並びに決算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

<羽石> 引き継ぎ事項の対外配布ポスターなどを事前審議が取れていればありましたが、もし取れていた場合どのような告知方法が取れていましたか。また、事前審議自体が認められていない現状ですと次年度の対策としてはどのようなことをお考えですか。

<飯沼> 本体審議の前倒しをして審議を取るしかないと思います。また、その場合は委員会メンバーに綿密な告知計画を立てて効果的な告知ができるように実施していくべきだと思います。

<鈴木> ビジターの動員計画について拡大委員会と連携を図るとありますが具体的にどのような連携をとるべきだと思いますか。

<飯沼> ビジターの皆様にその例会の魅力のアピールしていくことが大切だと思います。その観点から考えますと、拡大委員会の皆様に例会趣旨や魅力を伝えたいので、拡大の皆さんがビジターの方に魅力を伝えられるようなアプローチをしていくことだと思います。

<鈴木> その考えを聞いて、小瀧特別委員長はどのようにお考えですか。

<小瀧> 現状として連携が取れていないので、ビジターの情報など実際に連絡を取っていただければと思います。

<鈴木> これからの課題だと思いますので常任理事も一丸となって頑張っていきたいと思っています。

<飯野> 引き継ぎ事項に市役所へのアプローチは早い方が良いとありますが、具体

的にはどれくらいですか。あわせて下野新聞へのアプローチに関しても街なか支局にいった方がいいとありますが、通常のアプローチと異なりますので理由を記載してください。

<澤畑> クラウドファンディングという良い切り口でやっていただいたと思います。ありがとうございました。常任理事会という場なのでいわせてもらいますが、実施上の問題点をみるとほとんどが常任で防げた問題なのではないかと思います。当日会場で設営のリハーサルがちゃんとできていないという感じで、当たり前のことを当たり前にやらせるのも常任の役目だと思います。執行部も含め、特に担当常任理事は細かく注意、忠告していれば防げたものですので、今後このようなことがないようにしてください。

協一 3 第114回通常総会 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯沼事務局長より上程文の読み上げ

<羽石> 113回の総会開催時間が19時30分であって、開催が遅れたのに114回を19時開催にした理由はなぜですか。

<飯沼> 113回の19時30分開催の記載が間違っております。19時開催で定刻開催ができずに19時3分開催でございます。113回の報告議案を訂正させていただきます。

<福田（之）> 正副の時に申し上げましたが定款変更の理由は資料に載せなくてもよいのですか。

<飯沼> 記載いたします。

<澤畑> この総会が臨時がなければ今年最後の総会です。総務委員会としても最後の総会だと思います。メンバーを出席させることが目的ではないかもしれませんが、参加人数計画というものを自分たちで立てているのだから、いろいろな手法を考えて達成できるようにしてください。

協一 4 10月 食育事業 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、鈴木常任より変更点の読み上げ

<金> パネルの寄贈先は決まっていますか。

<鈴木> 中戸祭幼稚園です。

<飯野> パネルのカロリー表示の引用先を明記してください。

<鈴木> わかりました。

<亀井> ブースの中に入れる参加者以外の方にパネルを見ていただく方法はどのよ

うにお考えですか。

<鈴木> ジャムづくりと同時にパネルを見ていただくために参加予定人数を200人に増やしております。

<小瀧> パネルの表示でカロリーの意味など内容を精査してください。

<鈴木> 理事会までに精査します。

<羽石> 参加動員計画のメンバー80パーセントというのはどのように達成しようとお考えですか。

<鈴木> メンバー一人ひとりへの電話掛け、事業の意義に説明を行っていきます。

<羽石> ダンス例会でも出席率が振るいませんでしたし、委員会メンバーがやればよいとならないように理事会構成メンバー全員で協力していきたいと思えます。

<金> 電話掛けが推進方法であればそれを記載していただき、ビジターの参加推進方法も併せて記載してください。また、SNSを活用するとありますが、誰に対して何をどのように活用するのか記載してください。

<亀井> パネルの内容について振り仮名を振ってありますが、振り仮名があっても内容的には子どもさんには難しいのかなという内容もあるので表現の仕方をご検討ください。

<鈴木> 当日、保護者の方が同伴していることを想定しておりまして、お子さんがわからない内容も保護者の方とコミュニケーションを取っていただくためにもと考えております。

<亀井> 寄贈先のこともありますので内容を考えていただければと思います。

<飯野> タイムスケジュールについて委員会ごとのタイムスケジュールがあるとわかりやすいと思います。

<鈴木> わかりました。

<澤畑> 食欲の秋ということもありますので楽しみにしております。亀井副委員長が言うておりましたし、正副でもあがっていましたが、パネルの内容について寄贈先がこれをもって本当にうれしいのか、同じ世代の子どもを持つ私たちがもう一度考えてみてください。パネルの横で先生がいちいち説明することはできませんから。そして、せっかく寄贈するのであればJCの名前を入れて、いつか子どもたちが大きくなった時にJCを志していただければと思いますのでよろしく申し上げます。

協一 5 10月 まちづくり例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料に基づき、鈴木常任より変更点の読み上げ

- <金> 2日前のアジェンダと今配られたアジェンダの変更点を教えてください。
- <鈴木> 開催日時と開催場所、まちプロ組織図の中身、出向者会議の日時、資料、みやハロのオリオン通りの会場図、バンバ広場の会場図、トリックオアトリートのタイムスケジュール、アンケート、予算全部です。
- <金> 協賛品について何を何個どのようにいただくのか記載してください。
- <鈴木> 参考資料の6に記載してあります。
- <金> 看護師派遣の詳細を教えてください。
- <鈴木> 詳細はまだないのですが、本部テントにいていただくようになっています。その他は確認します。
- <金> 大会冊子、横断幕とありますがこれの予算はどちらにありますか。
- <鈴木> 大会冊子は載っていません。横断幕は例会看板のことです。
- <金> 警備資料のカラーコーンの数の確認をお願いします。
- <鈴木> 40個の方が正しいです。
- <金> 出向者会議の日時変更を依頼していたのですができない理由はありますか。
- <鈴木> まちプロのメンバーに確認したところこの日がベストであると回答をいただいております。
- <金> 次年度案件が2件ほど重なっておりますので、調整をお願いします。
- <金> 荒天時の中止などの連絡、対応はどのようになっていますか。
- <鈴木> 荒天時には朝10時までにホームページに掲載します。
- <金> 事務局対応はどのようになっていますか。
- <鈴木> 開けていただいて、人員を配置したいと思います。
- <小瀧> 警備担当マニュアルの配置図の確認してください。
- <鈴木> オリオン通りの警備配置図など記載します。

- <羽石> トリックオアトリートの係員配置について誘導1人なのか他に人をつけるのか教えてください。
- <鈴木> 資料では1人になっていますが当日は2人つける予定です。資料を訂正します。
- <羽石> タイムスケジュールの精査を子どもが歩くという視点でもお願いします。
- <飯沼> 来場者アンケートの目的は何ですか。
- <鈴木> まちプロアンケートの部分で、参加した市民の方がまちづくりに対してどのように感じたかの検証方法として実施します。また、出向者会議の反省会でも使用します。
- <飯沼> 主目的の検証のためではなく、サブ的なものということですね。
- <鈴木> そうです。
- <中島> まちづくりプロジェクトアンケートというのはまちプロ参加者に対するアンケートですね。そうするとまちプロに参加する人のための事業になりますよね。そうすると他の参加する市民はどのような立ち位置ですか。まちプロに参加する人のための事業なのですか。そのためにこのお金をつかいますか。目的がまちづくり例会ですから目的は街のためになるはずですが。このまちに必要なものを聞くためのアンケートは良いと思いますが、検証のためになると少し違う気がします。
- <羽石> 参加推進の要綱ポスターの配布方法はどのように考えていますか。
- <鈴木> メンバーがすべてまわることとなります。
- <羽石> 市の教育委員会に配布して小学校に配布する方法があります。予備費に関して余裕があるので他の告知方法を考えてはいかがでしょうか。
- <鈴木> 教育委員会のことについては委員会に伝えます。予備費に関しましては、できる範囲で広報にまわす方向で考えたいと思います。
- <飯野> かんぴょうマスクの制作の人数と担当委員会の人数など、議案から設え読み取りづらい内容が多いので説明をお願いします。
- <鈴木> マスクの制作は100人を3回転で考えておりますが、詳細を精査したいと思います。
- <亀井> 参加動員計画のメンバー人数確認、ビジター参加動員計画について精査をお願いします。

- <小瀧> 組織図の各委員会担当の役割について詳細を教えてください。
- <鈴木> この資料は政策委員会内の担当役割になっております。わかりやすく精査します。
- <飯沼> ポスターの雨天決行の記載だと荒天中止がありえることが伝わらないので精査してください。
- <羽石> 組織図内の会長というのは理事長のことなのかということと、タイムスケジュールについてセレモニーと参加者受付など重なっているようですが、どのように考えていますか。
- <鈴木> 組織図に関しては理事長が一番上になります。タイムスケジュールに関しては一般受付が13時半になっていますのでセレモニーとは重なりません。
- <羽石> まちプロの開会式の式次第で理事長挨拶とありますので、会長挨拶にかえた方が良くと思います。
- <飯野> ボディペイントなど他の参加団体に対して出向者会議の時に説明はありますか。
- <鈴木> 委員会担当の各メンバーとまちプロのメンバーからも説明に参加していただく予定です。
- <金> 保険について前回の議案では予算計上されていましたが、今回外しているのはなぜですか。
- <鈴木> お面の部分でのこぎりを使う作業に対してかけていましたが、ふくべ堂の作業に関しては業者にやってもらっていますので外しました。
- <金> イベント保険をかけられるのであって、予算にも余裕があるのであればオリオン通りのイベントに関してもかけておいた方が良くはないですか。
- <廣田> 前回の議案の予算計上はのこぎりを使う作業に関してのもので、500名のトリックオアトリートの参加者に関しての保険は掛けられるようでしたらかけますし、ないようであれば、参加申込書に一文を入れるなど対応します。
- <飯沼> 告知及び動員計画に関してポスターチラシの配布計画について無理はないですか。
- <鈴木> できる前提ですが効率が良い方法も考慮していきたいと思います。
- <羽石> 補足ですが、スーパーやドラッグストアの本部には現場サイドで下話をしておくと協力的な店舗も多いので効率的かと思います。

- <小瀧> トリックオアトリートのタイムスケジュールの確認、精査をお願いします。
- <飯野> 保険に関してですが、子どもの参加する事業ですし他の予算を削ってでもかけておいた方が良いかと思います。
- <羽石> パネルのイメージ、出来上がりのチェックはどのように考えていますか。
- <廣田> デザインについての責任、著作権の所在はメディアアーツになります。そのことにつきましては審議対象資料の11番に参加承諾書に記載させていただいております。
- <羽石> 組織図を見ますと会長の上に理事会がありますので、出来上がったものを理事ミーリングで流すなどはしていただければと思います。
- <飯沼> 審議の前にフォーマットなどアジェンダのチェックをお願いします。
- <飯野> 理事会の前にもう一度理事ミーリングなどで議案のチェックができるようにご配慮いただければと思います。
- <澤畑> この事業にとってこの常任理事会はどのような位置づけですか。
- <鈴木> 審議前の最終的なチェックをする場だと思えます。ただ現状そのようになっていないところであります。
- <澤畑> 常任理事会なので協議となっていますが我々執行部としては今日が審議のようなものなので、何をやってきたのかなと思います。常任自身が当日のイメージができていない。毎年やっている事業であれば、メンバーも当日何をやればよいかなんとなくわかっている事業であればいいですが、警備の内容の資料に関してもわかっている人に対してのものです。はじめての事業でやっていくのにこの資料でどうやってイメージするのですか。トリックオアトリートの内容に関しても子どもにどうやってお菓子を渡すのかなどまったく伝わってこないです。担当自身がイメージできていなければここにいるメンバーに伝わるはずがありません。まちプロというものを立ち上げてやっていくことはいいことだと思いますが、まちプロのメンバーと我々JCのメンバーの違いは何ですか。子どもたちにオレンジ色のバックを持たせてまちをオレンジに染めるとなっていますが、一般の来場者とまちプロの方の区別が今のままではつかないと思います。そのような細かいところまでイメージができていれば、全員にオレンジのTシャツを着せるとか考えられると思います。ポスターに関しても、以前理事長がおっしゃっていたと思いますが、やはり伝わりづらいです。ふくべ細工って何って子どもたちは思うと思います。写真を載せるなど対応できると思いますし、そもそも理事長に数か月前に指摘されていたのにやっていない、50分かけてこれだけ意見が出て、これをしっかりやったらもっと時間がかかると思います。委員会スケジュールに関しても書いてあるだけになって

しまっています。今月審議取れますか。もう少し常任がコミットしてやっていただくしかないので頑張ってください。

協一 6 10月 全国大会関連事業 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、飯野常任より変更点の読み上げ

<羽石> 講演の中身に関してですが松山大会以外の情報は委員会でリサーチしてありますか。

<飯野> 山田委員長は以前全運に出向していた経験もあり、そのあたりからも情報を集めております。

<羽石> 全国大会とはというだけでなく全国大会の先にあるものについて語っていただけるように打ち合わせをしていただければと思います。

<豊崎> 松山J Cからお借りする映像はどのようなものか詳細をお教えてください。

<飯野> 全国大会が終わったときに流れている映像になりますので、日本J Cが確認したうえで流しているものです。

<鈴木> 講演内容の構成がAからDまでありますがその中で一番強調したいものは何ですか。

<飯野> 全国大会の先にあるものについてのことがメインですが、11月の総会で来年度の立候補の案件もありますので、そこに至るまでの話なども織り込んでいただくように打ち合わせていきます。

<澤畑> 自分はお話を聞いたことがあるのですが、すごくいい話をしてくださる方なので楽しみにしています。いずれにしても打ち合わせが重要になると思いますので、密に行っていただければと思います。

協一 7 11月 対内研修事業 開催計画並びに予算（案）について  
協議資料に基づき、亀井副委員長より変更点の読み上げ

<羽石> 徳育ゼミナールの選定理由を記載していただければと思います。

<亀井> 徳育ゼミナールの目的なども記載させていただきます。

<金> 参考資料の11番は配布しますか。

<亀井> はい、配布します。

<金> 配布物は片面印刷、両面印刷どちらですか。

<亀井> 片面印刷で考えております。

- <金> 両面印刷にしない理由は何ですか。
- <亀井> 考えておりませんでした。
- <金> ご検討をお願いします。
- <羽石> 徳育ゼミナールの資料の中に背景問題点が記載されていますが、対内事業ですからこの背景は我々が当てはまるということでしょうか。
- <亀井> こちらの資料は通常の徳育ゼミナールを行う上での背景目的になっていまして、我々が使う資料ではなく、徳育ゼミナールとは、というための資料になります。
- <羽石> 当日使う資料はまだ記載されていないのですか。
- <亀井> 当日使う資料はパワーポイントの中に記載されておりまして、この資料は当日配布される資料として使います。
- <飯沼> アンケートの中に、どちらともいえない、が入っているものとないものがありますけどどのような違いですか。
- <亀井> 特別意図はなく、もう一度委員会で考えます。
- <澤畑> 出向先で経験してきた内容を生かしていただいて、事業だけれどもセレモニーをやりたいというこだわりも出向先で鍛え抜かれた、完璧な設営というものをみんなに見せつけてほしいなと思います。それが、出向先で得たものをフィードバックすることにつながりますし、理事が少ない状況ではありますがしっかりと設営ができるように頑張ってください。

協一〇八 11月 研修例会 開催計画並びに予算(案)について  
協議資料に基づき、羽石常任より上程文の読み上げ

- <金> 講師の変更理由は何ですか。
- <羽石> 三浦氏がそうであるというわけではないですが、本人の苦労話や体験談だけでは自己研鑽につながりにくいと思いますので、ピーターフランクル氏に変更いたしました。
- <金> 講師検討リストの他に講師はいませんか。
- <羽石> 日程の調整がつく方がリストの方々です。その他ですと茂木健一郎氏、考古学の吉村作治氏がいらっしゃいます。
- <金> 参加動員計画の1400名の理由は何ですか。

- <羽石> なるべく多くの方に聞いていただきたいということですが、会場のキャパシティから見ても1400人くらいだと思っています。
- <金> ピーターフランクル氏でこのような動員計画で1400人いけるというイメージができていますか。
- <羽石> 委員会で再度検討いたします。
- <飯沼> 講演実績の会場の収容人数や他の共演者などの詳細からの見込みですか
- <羽石> すべてではないので確認します。
- <鈴木> 三浦氏で1400人呼ぶ方法ではなく講師を変えた理由は何ですか。
- <羽石> ピーターフランクル氏に関しては委員会スタッフ中心ですが著書を読ませていただいたりして内容の確認はできています。総合文化センターの日程等を含め委員会では動員を図るということも重要なことと位置づけておりまして選定させていただきました。数学者ですから内容が難しいということもありますが、今回は考え方を伝えるということですので、内容としても伝わると思います。
- <飯沼> 対外目的の対象者は、体験ブースにいる200名ですか、会場にいる1400人ですか。
- <羽石> どちらもということになります。
- <飯沼> 前段では受け身ではなく受け答えをするとありましたが、ブース以外の1200人が受け身にならないようになっていきますか。
- <羽石> 講師と他者のやり取りから自分を投影していただくということで効果が得られると思います。
- <小瀧> 動員と意識醸成とどちらを主軸になっていますか、対外目的にある一般市民の意識の醸成の検証方法はどのように考えていますか。
- <羽石> 委員会では動員ではなく中身に重きを置いています。検証方法は確かに難しいと思いますが何かのきっかけになればと思います。
- <飯野> 事業目的にある挑戦にたいして講師の講演実績は教育系のものが多いと思いますが委員会ではどのように考えていますか。
- <羽石> 著書に中にご自身の育っている環境において挑戦を続けてきたというものがありませんので内容に関しては問題ないと思います。

- <金> 3月の事業の1309人に対して今回ピーターフランクルさんで1500人呼べるという根拠となぜ動員のその人数にこだわっているのかを教えてください。
- <羽石> あまり答えになっていませんが、委員会としては両方に重きを置いていて、いくら内容がよくても人数が少なければ広がらないですし、せっかく120万という予算をいただいているので人数に関してもこだわっています。
- <金> 講師、動員計画に不安が残ると思いますので動員計画の人数を減らしてもいいのではないかなと思います。
- <小瀧> 講師の候補者を選んでいる基準は何ですか。
- <羽石> 基準としては挑戦というテーマがあります。
- <小瀧> 他の講師も検討してください。
- <中島> 事業目的に対してこの講師が絶対ベストだという根拠が薄いと思います。会費から120万という予算を出していて、それを決めるのが理事会ですから、理事会メンバーが絶対大丈夫だ1500人集めると思える、我々も絶対成功へ導けるというような気迫が感じられません。積極的に行動を起こすと挑戦って何が違いますか。
- <羽石> 挑戦を大きな意味で考えていまして、その中に積極的な行動があり、その連続が挑戦と考えています。
- <中島> イメージとしてはそうだと思います。行動を起こす先に挑戦しようという気持ちがある。挑戦といっていますが何に対しての挑戦かわかりません。根本的に我々JCがこの事業をやるのか対内目的に書いてありますが、未来のまちの発展のためと書いてありますが、ピーターさんの著書を見ますと、すべてが自義なのです、自分が主人公だと書いてあります。利他ではないです。自分が主人公なのだから自己研鑽しましょうというスタンスですし、著書の中でもそのようなことが書いてあります。JAYCEEの自己研鑽のために、であれば講演として合うのですが、JCを変革していく意識、何のために、未来の街のために、そのために僕たちは挑戦する意識を共有しましょうということに関してピーターフランクル氏は合致していません。また、1400人を呼んではじめてこの事業が成功したのか検証できるという意味では、動員計画は非常に重要ですし、講演実績の1500人、1800人呼んだ内容を見ても人生を楽しむという自義のもので、もし今回新しい切り口で講演を依頼するのであればそれなりの根拠が必要だと思います。
- <福田(之)> 小瀧特別委員長、中島副理事長のおっしゃっていたとおり、この動員計画では1400人呼ぶことは難しいと思います、正副で出たようにこの動員計画でできるのか、ということ委員会に投げかけても頑張りますという

だけで常任に出してきても変わらないと思います。講師も再検討し、動員計画ももう一度練り直していきます。

<金> 講師選定も含めて再検討してください。

<澤畑> 講師例会というのは好き嫌いもあるし、難しいところもありますが、動員というのは結果のものですから呼べます、集めます、ということはできるのですが議案としてあがってきてみんなが見て、この人なら1400人呼べるのではと感じて、さあ動員はとなるような講師でないといけないと思います。不安だなと感じる要素がなくなるように再考してみてください。

#### 14. 報告依頼事項

報-1 2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-2 2015年度 対外出向者について

<金> ご一読ください。

報-3 会費納入状況について

<豊崎> 未入金者前後期残り3名です。

報-4 特別会員入金状況について

<豊崎> 変更ございません。

#### 15. 監事講評

<安野>

総務委員会・渉外委員会の皆さんもはやくからの設営ありがとうございます。本日は冒頭に澤畑副理事長がおっしゃっていたように「50年に一度の大雨」ということで、各地で川の氾濫や土砂崩れなど被害にあっている方もいらっしゃると思います。そんな中ではございますが、須山理事長不在の常任理事会が開催されました。須山理事長も真摯に挑戦されていると思いますが、そんな理事長の思いを我々はどれだけくみ取れているのでしょうか。いかに常任理事会構成メンバーで共有するかが、例会・事業の行く末を占うのではないのでしょうか。JCは文字どおり青年が議論をするところです。ただ会議をするだけではなく、それぞれが持った価値観、違った価値観をぶつけあう場なのだと思います。副理事長、常任理事が委員長と価値観をぶつけあって、理事長が示した一つの方向に向かっていくのがJCだと思います。一人ひとりが組織を動かしているということを実感して、良い方向にむかって突き進んでいってください。いよいよ2週間後には全国大会東北八戸大会が開催されますが、訪れた際には色々なところに目を配っていただきながら楽しんでいただければと思います。私も歯車の一つではなく、動力となって大会を動かしていきたいと思

ます。

17. 閉会宣言

<金>

公益社団法人 宇都宮青年会議所  
2015年度 第9回常任理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会